

吉澤ひとみ被告を待つ「アルコール依存」との闘い 専門医は「彼女は依存症」

9/28(金) 16:36配信

東スポWeb

アルコール依存症が社会問題化



©東京スポーツ新聞社

酒気帯び運転でひき逃げ事故を起こし、自動車運転処罰法違反（過失傷害）と道交法違反の罪で東京地検に26日起訴された元「モーニング娘。」の吉澤ひとみ被告（33）が27日夕、保釈されたが、心配されるのは酒豪として知られた吉澤被告の飲酒についてだ。

JAL、飲酒の副操縦士を懲戒解雇 禁錮10カ月、赤坂社長ら減給

By Tadayuki YOSHIKAWA

共有する:   

・アルコール依存は意志の問題ではなく、**専門医の治療が必要な疾患。**

・社会問題化は飲酒人口の増加も要因の1つだが、**社会ルールの厳格化も要因の1つである。**

日本航空（JAL/JL、9201）は11月30日、過剰飲酒により英国で身柄を拘束された副操縦士の實川（じつかわ）克敏被告（42）に、禁錮10カ月の判決が言い渡されたことを受け、實川被告を懲戒解雇とする社内処分を下した。赤坂祐二社長は役員報酬を12月から3カ月間20%減額し、安全統括管理者で運輸本部長の進俊則専務は同10%減額する。

實川被告は、ロンドンを現地時間10月28日午後7時発の羽田行きJL44便（ボーイング777-300ER型機）に、機長2人とともに3人で乗務予定だった。しかし、飛行機へ向かう送迎バスの運転手がアルコール臭を感じたため、現地警察が検査。英国で定められた値の約10倍となるアルコール量0.93mg/lが呼気検査で検出され、血中濃度検査でも規定値の9.5倍にあたる1890mg/lのアルコールが検出されたことから身柄を拘束された。ロンドン西部の裁判所で11月29日に開かれた裁判で、禁錮10カ月の判決が言い渡された。

JALによると、社内手続きが進み次第、實川被告を懲戒解雇するという。赤坂社長と進専務は、11月分の報酬もすでに同率で自主返納しており、減額は今回社外取締役を委員長とする懲戒委員会が下したものと合わせると4カ月分にな



實川被告に懲戒解雇処分を下したJAL = PHOTO: Tadayuki YOSHIKAWA/Aviation Wire

図1. アルコール関連問題と依存症

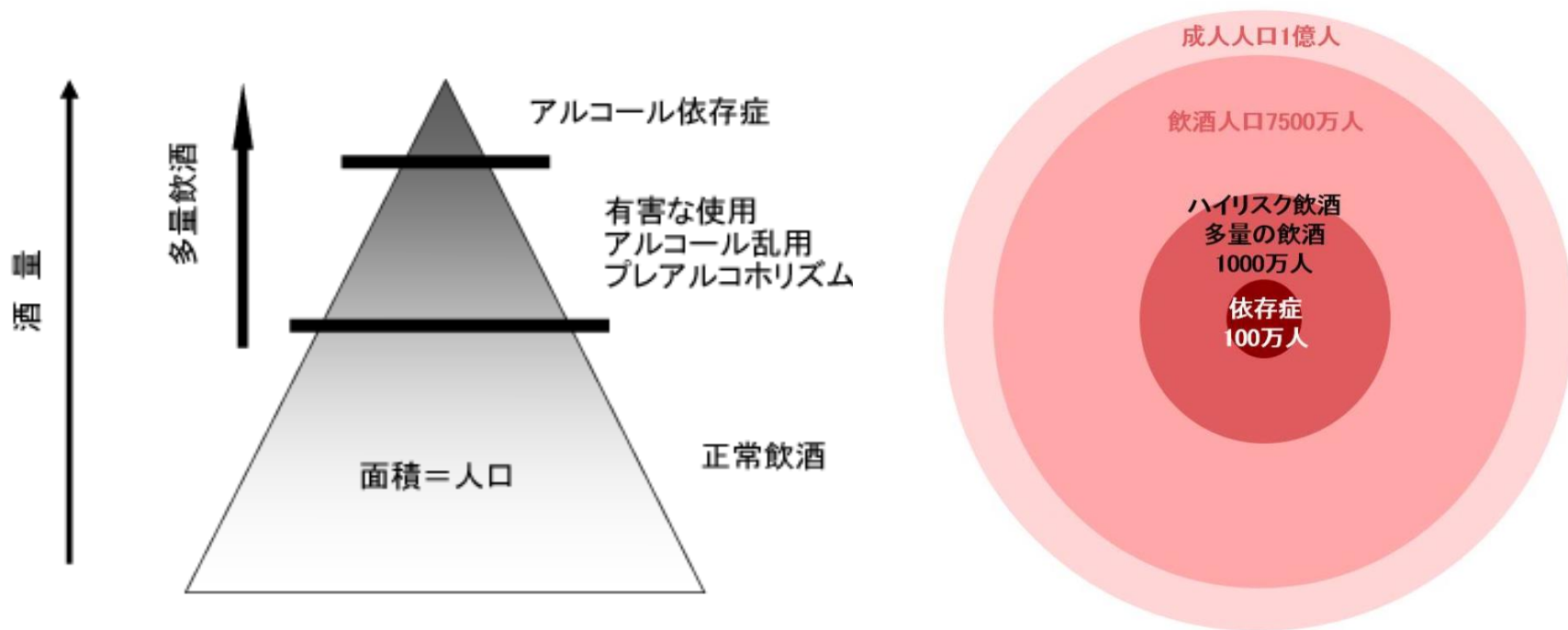


表2. 主な離脱症状

軽～中等症	自律神経症状	手のふるえ、発汗(とくに寝汗)、心悸亢進、高血圧、嘔気、嘔吐、下痢、体温上昇、さむけ
	精神症状	睡眠障害(入眠障害、中途覚醒、悪夢)、不安感、うつ状態、イライラ感、落ち着かない
重症		けいれん発作(強直間代発作)、一過性の幻聴、振戦せん妄(意識障害と幻覚)

表1. アルコール依存症(alcohol dependence syndrome)のICD-10診断ガイドライン

過去1年間に以下の項目のうち3項目以上が同時に1ヶ月以上続いたか、または繰り返し出現した場合	
1	飲酒したいという強い欲望あるいは強迫感
2	飲酒の開始、終了、あるいは飲酒量に関して行動をコントロールすることが困難
3	禁酒あるいは減酒したときの離脱症状
4	耐性の証拠
5	飲酒にかわる楽しみや興味を無視し、飲酒せざるをえない時間やその効果からの回復に要する時間が延長
6	明らかに有害な結果が起きているにもかかわらず飲酒

アルコール依存症チェック WHO:

<http://alcoholic-navi.jp/checksheet/>

アルコール依存症チェック 新久里浜式(男性):

<http://alcoholic-navi.jp/checksheet/man/>

アルコール依存症チェック 新久里浜式(女性):

<http://alcoholic-navi.jp/checksheet/woman/>

アルコール依存症対策

- アルコールにより、日常生活に問題が生じるようなら、アルコール依存と考えて良い。
- **アルコール依存は意志の強さとは無関係、専門医の治療が必要な疾患。**
- 出来るだけ早めに専門医を受診する。あるいは受診を勧める。
- メンタル疾患や他の身体疾患の合併もあり、治療しなければ、自殺も含めて死亡率は非常に高い。